

オオバツツジ	<i>Rhododendron nipponicum</i> Matsum.	絶滅危惧 I 類
		ツツジ科
選定理由	個体群の数と個体数が極めて限られている。	写真(岐阜大学教育学部標本室) 
形態の特徴	高さ1-2mの落葉低木。葉は倒卵形、先は丸いかやや凹形、長さ5-10cm。花は新葉の展開とともに開く。萼片は5裂する。花冠は筒型で先は5裂し、長さ約1cm、黄白色で先は赤みを帯びる。雄蕊は10本。	
生態的特徴	山地の岩場に生育する。花期は7月。	
分布状況	日本に固有で、東北地方から北陸地方にかけての日本海側に分布する。岐阜県では県北に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘